

加茂市



議会だより

第135号

平成15年1月31日

編集発行 加茂市議会
〒959-1392

新潟県加茂市幸町2丁目3番5号
TEL 0256-52-0080 (代表)
FAX 0256-53-4684 (直通)
ホームページ
<http://www.city.kamo.niigata.jp>
E-mail
gikaijimu@city.kamo.niigata.jp



初春、千年の古木よりみる猿毛山

- ▲ 主な内容
- 条例の一部改正などを可決 … (2)
 - 委員会の審査から … (3)
 - 10人が一般質問に登壇 … (4)
 - 平成14年の議会 … (7)
 - 議決状況一覧表 … (8)

平成十五年の新春を迎え、市議会を代表して、市民の皆々様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。旧年中は、本市議会に対しまして、格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。現在、我が国の経済は依然低迷し、厳しい状況が続いており、一刻も早い回復が待たれることであります。一方、市町村合併についても目を離すことが出来ない現状となつております。本年も、加茂市民のため、議会の活性化を図り、開かれた議会をめざしてまいりたいと考えておりますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



加茂市議会議長
樋口 浩二

年頭にあたつて

12月定例会日程

2日	本会議・連合審査会
3日	建設企業常任委員会
4日	合併問題特別委員会
5日	社会経済常任委員会
6日	総務文教常任委員会
9日	決算審査第1特別委員会
10日	決算審査第2特別委員会
13日	決算審査第3特別委員会
16日	合併問題特別委員会・議会運営委員会
17日	本会議・全員協議会

国民健康保険特別会計は、七

十二月定例会日程

国民健康保険税条例の改正を可決

十二月定例市議会は、二日から十七日まで会期十六日間で開かれました。

この定例会では、各会計補正予算、条例の改正、人事など市長提出議案二十五件を慎重に審議の結果、すべて原案可決、同意、認定しました。

また、議員提出の条例二件、意見書二件を原案可決し、意見書は関係機関へ提出しました。

なお、議員提出の市議会の議員の定数を定める条例（定数二十名）は否決、加茂市と田上町の合併協議に関する意見書は、撤回を承認しました。

この定例会に、市長から提出された議案の主な内容は、次のとおりです。

条例改正 国民健康保険税
税特別措置法に規定する申告書提出義務がないことの追加と、地方税法の改正により所要の改正を行うものです。水道給水条例の改正は、大字下条の一部が住居表示されたことに伴い給水区域の改正を行うものです。

一般会計補正予算など可決

補正予算

一般会計は、第
七号補正で八千百

三十七万二千円を増額し、会期中に追加提出された、第八号補

正で四千六百七十四万九千円を減額して、予算の総額を百四十億九千五百一十七万九千円とするものです。

するものです。歳出の主なものは、第七号補正では、企業設置奨励事業費千六百五十二万二千円、地方バス路線運行維持対策

費千八百六十三万八千円などを増額し、職員人件費千七百四十万六千円などを減額するもので

す。

なお、会期中に追加提出された各会計補正予算は、人事院勧告に伴う職員給与改定費の補正です。

平成13年度 会計別決算状況 (単位 千円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額
一般会計	14,594,095	14,324,205	269,890	3,016	266,874
特別会計	国民健康保険	2,162,415	2,131,554	30,861	30,861
	老人保健	3,234,750	3,210,782	23,968	23,968
	宅地造成事業	195,866	58,869	136,997	136,997
	下水道事業	2,720,315	2,697,299	23,016	9,240
	介護保険	1,672,916	1,644,533	28,383	28,383
	在宅介護サービス事業	481,431	390,805	90,626	90,626

市道路線

道路法により新
三号を市道に認定するもので

ついて同意しました。

消防衛生組合公平委員会

委員他に同意 定例会最終日の本

人 事 会議で、十二月三十

日に任期満了となる加茂市、

加茂市・田上町消防衛生組合公

平委員会委員に、田邊敏夫氏

（上町・63歳）の再任、監査委

員は投票を行い、新たに坂中春

信氏（青海町・57歳）の任命に

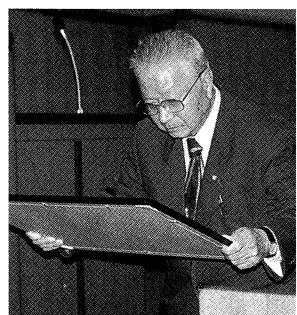
決 算 一般会計と各特別会計の平成十三年度

決算について、各特別委員長の報告の後、一般会計決算については、起立採決の結果、賛成多数で認定しました。

また、各特別会計の決算は、いずれも全会一致で認定しました。

※各会計別の決算状況は、別表のとおりです。

平成十三年度決算を認定



感謝状を受ける古山議員

決算審査特別委員会

一般会計と各特別会計の平成十三年度決算については、三つ

十日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、すべて原案可決すべきものと決まり最終日の本会議へ報告されました。

議員表彰

総務大臣から永年地方議会議員として感謝状を受けられた、古山一作議員の感謝状伝達式が、定例会初日の開議に先立つて行われました。

十一月五日に委員会を開催し、市道路線の認定の現地視察を行った後、水道給水条例の改正など付託された議案三件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

建設企業常任委員会

十一月五日に委員会を開催

し、一般会計補正予算など付託された議案四件について、それ

ぞれ説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付す

こともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

社会経済常任委員会

十一月九日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案四件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

総務文教常任委員会

十二月十日に委員会を開催し、一般会計補正予算の付託された議案一件について、説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すことなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

なお、継続審査中の請願一件は、継続して審査すべきものと決定しました。

委員会の審査から

各常任委員会に付託された議案は、十一月五日から十日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、すべて原案可決すべきものと決まり最終日の本会議へ報告されました。



節 分

羽生 六男

合併問題特別委員会

合併問題特別委員会が十一月二十八日、十二月六日、十六日

に開催されました。

十二月六日の委員会では、請願第九号「加茂市と田上町の合併協議に関する請願」に対する

議論があり、十六日に再度委員会を開催し、参考人の出席を求め

ることが決定されました。

十六日の委員会では、請願に

ついて、市長の発言、紹介議員

の説明、参考人の意見などがあ

り、続いて各委員の質疑、討論を行いました。投票の結果、賛

成少数で継続審査については否

決、次に、採択について投票の

結果、賛成多数で採択すべきものと決定しました。

の決算審査特別委員会を設置し、十二月十一日から十三日の間に、各特別委員会を開催し、慎重に審査を行いました。

一般会計決算は、第一・第二

決算審査特別委員会では、いず

れも全会一致で認定すべきものと決定しましたが、第三決算審

査特別委員会では、討論の後、

起立採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

また、各特別会計決算は、いず

れも全会一致で認定すべきものと決定しました。この決算審査特別委員会の構成は、次のとおりです。

※議会選出監査委員、議長を除く。

決算審査第二特別委員会
○高橋 禧雄 ○中野 元栄
安中 弘 佐野正三良
大関 勝正 大桃 一明
小野吉太郎 岡田 銀次

決算審査第三特別委員会
○関 龍雄 ○山田 義栄
小野吉太郎 岡田 銀次

・国民健康保険特別会計
・老人保健特別会計
・介護保険特別会計
・在宅介護サービス事業特別会計

(○委員長 ○副委員長)
○安田 憲喜 ○青柳 敏夫
古山 一作
茂岡明與司 安中 久
安武 秀敏 星野 昭吾
今井 詔一
星野 昭吾

新政小野吉太郎議員

のてバスつい線に止鉄路

丸山遺跡は、近郷では珍しい二万年前の旧石器時代の貴重な遺跡であると、市政報告に紹介され、公園化という話も聞いているが、どのように整備するのか。

答弁 ① 十月から県の補助対象路線は村松・大谷経由加茂行きと、村松・冬鳥

質問 ① 七谷方面の蒲原鉄道の路線バスの一部の運行が来年五月で廃止される予定と聞いているが撤退後の市民の足の確保をどのように考えるか。

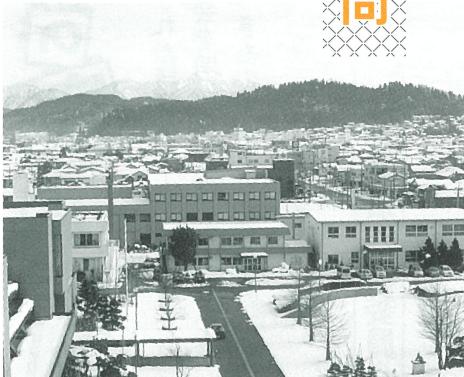
② 上大谷地区の

越経由加茂行きの路線の一部だけとなり、そのほかの路線は県の補助対象からはずれる。県の補助対象からはずれることから、市への負担が増えることから、別の補助制度を活用し、新年度から市民バスに切り替えて運行し、今までどおりの運行を確保していきたいと考えている。

② 遺跡の範囲は最大で約八

一般質問

十二月定例会では初日から十人の議員が一般質問を行い市政全般について所見や執行状況を問いただしました。その要点をお知らせします。



新春の市街地展望

市政の内容を聞く 一般質問

介護保険見直し及び支援費制度について 大関勝正議員

質問 ① 介護保険制度は来年四月から見直されることになっている。一号被保険者の保険料の見込みに対する実績予想はどうのようになつていてか。

② 介護申請した人のうち要介護と認定される人の割合はどうのようになつていてか。

③ また見直しに当たり、市民の意見を反映することになつていて、その取り組み内容はどう。④ 障害者サービスは措置制度から支援費制度へ変更になるが当事者への影響等について伺う。

⑤ ものづくり基盤技術の対応について見解を伺いたい。

千平方メートルであり、公園化整備については、用地を提供してくれる方の分を市が購入するという方法で、その分を公園化したい。なお、具体的な整備は検討中であるが、仮称、二万年前旧石器公園など名付けて、訪れる方々が太古のロマンに浸ることができるように環境を整えたいと考えている。

は、加茂市介護保険事業計画について意見を聞く会の委員から意見をいただき反映させたい。

④ 現在サービスを受けている人が、来年四月になつてサービス内容に多大な影響が出ることはない。事務的な変化は市職員がカバーする体制で臨みたままである。

⑤ 国では、ものづくり基盤技術基本計画が策定されている。地方の実態にあつた見直しが必要であり要望していくべき。

生産調整未達成の市町村に対する県の対応について、加茂市の影響と対応を伺いたい。

答弁 ① 市内全小中学校での諸費納入については口座振込を実施し、一部を除きほとんどが保護者が口座振込を利用している。手数料は平成十五年度から無料は労金と農協だけになり、保護者から選択をしていただくしか方法はない。

② 県の地域農業システムづくりについては、指摘のとおり市町村の負担額が増加し、具体的には約倍の負担率になり、今後の財政事業を勘案して事業推進を図つていただきたい。次に農林県単事業の原則不採択措置については、違法な措置であり、県に撤回を求めてきたところである。

答弁 ① 加茂市介護保険事業計画における介護給付費の見込みと実績については、三ヵ年合計で執行率、収納率ともに計画どおりに推移している。

② 裁量の範囲を最大限に利用して、申請者は百%全員認定という結果となつていて。

③ 計画の見直しに当たつては、加茂市介護保険事業計画について意見を聞く会の委員から意見をいただき反映させたい。

④ 現在サービスを受けている人が、来年四月になつてサービス内容に多大な影響が出ることはない。事務的な変化は市職員がカバーする体制で臨みたままである。

⑤ 国では、ものづくり基盤技術基本計画が策定されている。地方の実態にあつた見直しが必要であり要望していくべき。

生産調整未達成の市町村に対する県の対応について、加茂市の影響と対応を伺いたい。

答弁 ① 市内全小中学校での諸費納入については口座振込を実施し、一部を除きほとんどが保護者が口座振込を利用している。手数料は平成十五年度から無料は労金と農協だけになり、保護者から選択をしていただくしか方法はない。

② 県の地域農業システムづくりについては、指摘のとおり市町村の負担額が増加し、具体的には約倍の負担率になり、今後の財政事業を勘案して事業推進を図つていただきたい。次に農林県単事業の原則不採択措置については、違法な措置であり、県に撤回を求めてきたところである。

詳しく述べて記録で

十二月定例会の会議録は、二月下旬に発行予定です。

議会図書室、図書館、勤労青年ホーム、老人福祉センター、各コミュニティセンター、新潟経営大学図書館でごらんください。

政友クラブ
中野元栄議員

質問 ① 来年の五月に木工見本市が開催されるが、市としてどのような支援を考えているか。また、十二月から廃棄物小型焼却炉の規制が強化され木工業関係者は困っているが市長の考えを聞きたい。

② 加茂西小学校の現状について、PTAの皆さんからいろいろ聴いているが、校舎建設の早期着工、急を要する箇所の修繕を要望する。

③ 加茂川下流の洪水対策と景観整備について市長の考えはいかがか。

④ 市道広田線の県道昇格と県道宮寄上加茂線の拡幅について市長の考えはいかがか。

答弁 ① 木工見本市は加茂市で開催ということで全力で支援したい。また、木工業をはじめ、加工、製造において発生する焼却可能な廃棄物は、全部清掃センターで受け入れ焼却を行っている。今後も継続してまいりたい。

② 第三平成園の建設後とせざるを得ない。修理を要する点は早急に修理したい。

予平成に十五い年て度

③ 河道掘削については、残土処理捨て場等の問題もあるが、今後も国、県に要望する。

④ 市道広田線は下田村とど

質問 ① 来年度予算については、市税の減少が予想される。一方、中央では、地方交付税の役割のうちの一つである、財源保障機能の廃止が提言されている。これらは市の来年度予算編成に影響を与えると考えるが、市長はどのような予算編成を行うのか問う。

② 来年四月から、児童扶養手当の改悪で受給削減が実施されるが、市民の生活を守る立場から、市の支援が必要と考えるが市長の考え方を問う。

③ 同じく障害者支援制度の実施に伴う、市の対策を問う。

答弁 ① 固定資産税については現在評価作業を行っているが、市の墓準宅地は三年前と比較して防雪、防風、除雪など維持管理に万全を期してほしい。

② 加茂商工会議所では、加茂市と田上町の合併協議会設置質問 ① 市民待望の加茂美人の湯がオープンした。施設の防雪、防風、除雪など維持管理

もに県に要望する。宮寄上加賀
線の拡幅については、天神林上
条線の次に取り組んでまいりた
い。

度　日本共産党
　　大桃一明議員

較すると二一・七%も下落して
いる。市税全体の状況については、
は平成十四年度より減少する。
また地方交付税については、經
務省総務審議官が十五年度の額
は今年度並に確保すると述べて
いるので、今までの水準を落と
さずに、全部継続をした上で豊
かに編成することが目標であ
る。

② 法改正による減額が市の
支援として必要ではないかとの
質問であるが、全国市長会を通
じて、元の制度に戻すことを提
案するなど努力したい。

③ これも改悪な制度改正で
あるが、支援費に移行する障害
者の方々が今より不利にならなか
いよう目を配つてしまいたい。

の要望を市長に、請願を議長に
提出した。市長の合併反対は明
確だが、合併しないで財政的に
やつていいけるのかなどの懸念が
ある。行財政の見通しやまちづくり
くりなどについての市民への説明

加茂市経済再生戦略 会議の設置について

公明黨
佐野正三良議員

質問 ① 加茂市の経済はまったく元気がなくなってしまった。そこで、産・学・官による加茂市経済再生戦略会議の設置を提案したい。また、四・九の市を中心市街地の商店街に呼び戻すことを提案したい。

② I T 講習は十二月で終了になるが継続できないか。また今後の市におけるI T政策の方針性を取り組みを聞きたい。

③ 学校の学習時間の減少で学力低下が心配されている。学力向上に向けた取り組みを伺う。

答弁 ① 平成の大不況は全くの人災である。生き残り策はただひとつ。拡大財政政策をとる内閣が出現するよう全力を尽くすことに尽きる。経済再生戦

略会議を設置すべきとの提言だが、そうゆう会議は役に立たないのではないかと考えている。四・九の市は大通りに移すのがよいと考えている。時期については関係者の意見を聞いて検討したい。

(2) I.T.講習会は国の補助金で実施されたものであり、市長会を通じて国に継続を要望したい。また、市の情報インフラ整備等については国、県と連携を図りながら取り入れていきたい。

(3) レベルを落とした学習指導要領では、将来の日本の衰退を意味する。私は全国市長会でも文部科学省の幹部にこのこと強く申し述べている。

加茂市と田上町の合併協議請願は継続

加茂病院の医師等の充実を採択
有事法制制定の反対は今回も継続

十二月定例会で受理した請願二件と継続分一件を
審議した結果、一件を趣旨妥当として採択し、二件を
は継続審査としました。

2件



的医療機関である。
現在、常勤医師が六名が欠員

など、地域住民の生命・健康を
守る上で危機的な状況であり、
更に医師等を減らされるとの懸

念の声が大きくなっている。
この深刻な状況を克服して、
地域住民が安心して医療を受け
られるよう、下記の項目の実現

☆意見書提出を求める請願
●県立加茂病院の医師等の充実
を求める意見書提出に関する請
願（県立加茂病院の縮小に反対
し充実を求める会事務局代表）

▽採択したもの

- 加茂市と田上町の合併協議に
関する請願
- 自治体の管理権限を制限し、
地方自治を侵害する有事法制
制定の反対を求める請願

意見書2件を提出

定例会最終日の本会議において、議員提出による意見書二件を可決し、関係機関へ提出しました。

県立加茂病院は、加茂・田上で、救急病院として地域の中核

を強く要望する。
一・常勤医師の欠員補充を、一
刻も早く常時配置すること。

二・救急病院としての体制整備
と充実を早急に実現すること。

三・看護師や病院職員に欠員を
生じた場合の補充及び配置に
ついては、加茂病院が地域医

療機関であること配慮するこ
と共に、緊急時の対応に支障
をきたさないよう配慮すること。

四・医療機器は、最新鋭の機器
を導入すること。

五・病床数は地域住民の人口に
見合った数にすること。

六・病床利用率を上げるため、
具体的な対策を立て、公表する
「日朝首脳会談」で、北朝鮮

完全解決を求める意見書

北朝鮮による拉致問題の早期
解消を求める意見書

死亡についての真相究明。
三・本県は・曾我ミヨシさん
(当時四十六歳)昭和五十三
年八月十二日夕・長女曾我ひ
とみさんと一緒に買物帰りに
拉致された。

「未確認被害者」として、
大沢孝司さん、山本美保さん
等々はじめ、全国で七十名位
と推定される拉致被害者の真
相究明と救出に全力を尽くす
こと。

この状況のなか政府において
は、下記のことに対し一層強力
に取り組むよう強く要望する。
一・生存者五人の家族全員の即
時日本への帰国。

二・横田めぐみさんなど八名の
この状況のなか政府において
は、下記のことに対し一層強力
に取り組むよう強く要望する。
一・生存者五人の家族全員の即
時日本への帰国。

四・日朝国交正常化のため、交
渉は拉致問題の完全解決を最
優先に取り組み、国民と家族
の意向を尊重し、毅然とした
態度で望むこと。

会議名	日数
全員	本会議 62
	連合審査会 5
	全員協議会 15
常任委	総務文教常任委員会 10
	建設企業常任委員会 10
	社会経済常任委員会 9
常設	議会運営委員会 19
特別委	決算審査特別委員会 4
	合併問題特別委員会 24
その他	議会だより編集委員会 4
	各派交渉会ほか 7
合計	169

案件と議決状況

案件	件数	件数	議決状況	件数
市長提出	条例	18	原案可決	65
	予算	39		
	決算	8	認定	8
	人事	3	同意	3
	専決	4		
	その他	8	承認	4
議員提出	条例	4	原案可決	17
	意見書	14	否決	1
	決議	1	(撤回)	1
請願		10	採択	8
			継続審査	2
合計	109		合計	109

ほかに陳情 3件を配付して報告

他市町村議会議員等の視察来市 43件 421人

11月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案		
議案番号	件名	議決状況
54	専決処分（平成14年度加茂市一般会計補正予算第5号）	承認
55	14年度加茂市一般会計補正予算（第6号）	原案可決

12月定例会 議決状況一覧表

議員提出議案		
14	市議会の議員の定数を定める条例（定数22名）	原案可決
15	市議会委員会条例の一部改正	△
16	市議会の議員の定数を定める条例（定数20名）	否決
17	県立加茂病院の医師等の充実を求める意見書	原案可決
18	北朝鮮による拉致問題の早期完全解決を求める意見書	△
19	加茂市と田上町の合併協議に関する意見書	(撤回)

市長提出議案

56	14年度一般会計補正予算（第7号）	原案可決
57	14年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	ク
58	14年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	ク
59	13年度一般会計決算の認定	認定
60	13年度国民健康保険特別会計決算の認定	ク
61	13年度老人保健特別会計決算の認定	ク
62	13年度宅地造成事業特別会計決算の認定	ク
63	13年度下水道事業特別会計決算の認定	ク
64	13年度介護保険特別会計決算の認定	ク
65	13年度在宅介護サービス事業特別会計決算の認定	ク
66	国民健康保険税条例の一部改正	原案可決
67	水道給水条例の一部改正	ク
68	市道路線の認定	ク
69	公平委員会委員の選任（田邊敏夫氏）	同意
70	監査委員の選任（坂中春信氏）	ク
71	特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正	原案可決
72	市職員の給与に関する条例及び水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	ク
73	14年度一般会計補正予算（第8号）	ク
74	14年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	ク
75	14年度老人保健特別会計補正予算（第3号）	ク
76	14年度宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）	ク
77	14年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）	ク
78	14年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	ク
79	14年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	ク
80	14年度水道事業会計補正予算（第2号）	ク

1月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案		
1	冬鳥越スキーガーデン条例の一部改正	原案可決

議会だより編集委員
任期満了により、各常任委員
会から次の方々が、議会だより
編集委員に選出されました。



建設企業常任委員会の現地視察（12月5日）

議会日誌
（二条）
11月
三市議会議員合同研修会
（三条）
議會運営委員会行政 視察（伊那・都留）
各派交渉会
議會運営委員会
臨時市議会
22日
月例全員協議会
15日
20日
22日
6～8日

「平成十四年の議会」の集計を七ページに掲載した。十三年と比較して、二十六件が四十三件に、百七十一人が四百二十一人と、飛躍的に他市町村議会議員等の視察来市が多くなった。多くなった理由は、従来はなかつた市町村合併に関しての視察が加わったためである。今年もまだまだ続くのだろうか。

編集後記